

「新しい時代の高等学校教育の実現に向けた制度改革について」（抜粋）
令和3年4月21日 文部科学省初等中等局参事官（高等学校担当）

3.（1）普通科改革等に関する制度改革の概要（制度改革の背景）

学科数で5割以上、生徒数で7割以上を占める普通科

現状

- ✓ 「普通」の名称から生じる
一斉的・画一的な学びの印象

現状

- ✓ 多くの生徒がいわゆる文系・理系に分かれ、
特定の教科について十分に学習しない傾向

方策

- ✓ 各校のスクール・ミッション等に応じた
特色化・魅力化の推進
- ✓ 各校の取組の可視化・情報発信の強化
- ✓ 当該学科の特色・魅力ある教育内容を表現する名称を学科名とすることを可能化
- ✓ どのような学科を設置するかについては
現在の国際社会、国家、地域社会を
取り巻く環境や、高校生の多様な実態を
踏まえて各設置者が検討

方策

- ✓ 従来の文系・理系の類型分けは
普遍的なものではない
- ✓ 一人一人の生徒にとって将来のキャリア形成に必要となる科目の学習の機会が確保されない状況を改め、総合的な探究の時間を軸に教科等横断的な学びに取り組むなど、
生徒が多様な分野の学びに接することができるようにすることが重要

3. (1) 普通科改革に関する制度改革の概要

- ✓ **各高等学校の取組を可視化し、情報発信を強化するため、「普通教育を主とする学科」の種類を弾力化・大綱化する措置をとることが求められる。**
- ✓ **「普通教育を主とする学科」についても普通科以外の学科を設置可能とすることが適当**

学際領域に関する学科

- 現代的な諸課題のうち、**SDGsの実現**や**Society5.0の到来に伴う諸課題**に対応するために、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

地域社会に関する学科

- 現代的な諸課題のうち、高等学校が立地する地元自治体を中心とする**地域社会が抱える諸課題**に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、現在及び将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

- その他普通教育として求められる教育内容であって当該高等学校のスクール・ミッションに基づく特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

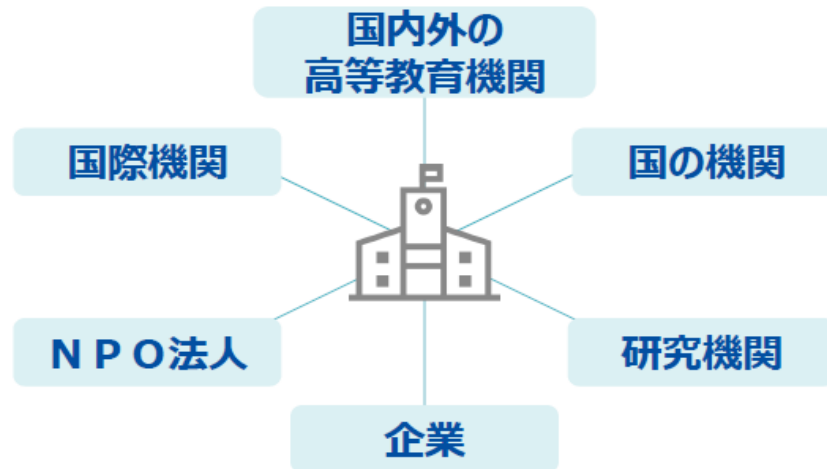
3.（1）普通科改革に関する制度改革の概要

新たな学科における関係機関との連携・協働

※高等学校設置基準第20条及び第21条

- ✓ 新たな学科においては、教室内の学びに加えて、実際の現場に赴いて諸課題の現状を目の当たりにしたり、最前線で課題解決に取り組む社会人の姿に学んだりすることが非常に重要
- ✓ 各学科の特質に応じた必要な関係機関との連携・協働
- ✓ 関係機関との連携・協働を調整するコーディネーターの配置

学際領域に関する学科



地域社会に関する学科

- 学校運営協議会の設置や、「コンソーシアム」として計画的・持続的に連携・協働する体制の整備

